

令和6年度 第1回 サイエンスダイアログプログラム (第2学年対象)

7月16日(月)午前10時より2時間にわたり、サイエンスホールにて、2学年生徒全員を対象に、サイエンスダイアログが行われました。東京大学大学院理学系研究科の Dr. RICHAUD, A. D. (Mr.) をお招きし、「天然遺伝暗号の拡張によるペプチドミメティックスの翻訳合成」について講義を聴講しました。すべての講義は英語で行われ、生徒はスマートフォンを活用したソフト Mentimeter を使って質問を送り、講師と双方向のコミュニケーションをとることができました。生徒の質問は69問におよび、将来の研究者としてのよきロールモデルに学ぶことができました。司会進行もすべて代表生徒が英語により行い充実した時間となりました。

On the morning of July 16, 2024, the Science Dialogue was held at the science hall. Dr. RICHAUD, A. D. (Mr.) at Tokyo university made a research presentation entitled "From France to Japan: Exploring Chemistry beyond Life". The 204 second grade students studied Peptide and DNA through the lecture and learned essentials for working as a researcher abroad, asking 69 questions on it. Moderator students controlled this two-hour event well in English.